

研究情報の公開（オプトアウト）について

このページ以降では、国が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、当院で実施中の研究に関する情報を公開しています。通常、臨床研究を実施する際には、研究内容について事前に対象となる方（患者さん等）に文書または口頭で説明し、同意を得ます。しかし、対象となる方への侵襲や介入がなく、診療情報のみを用いた研究や、余った検体のみを利用する研究など、研究の性質によっては、対象者全員から直接同意を得ることが難しい場合があります。

このような場合、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に基づき、「研究の目的や内容を公開し、対象となる方が容易に知ることができるようにし、拒否の機会を保障する方法（オプトアウト）」を採用します。

ご自身の検体や診療情報が当該研究で利用されることを望まれない方は、その検体や情報を用いずに研究を実施しますので、該当する研究の「お問い合わせ先」へご連絡ください。なお、研究参加を拒否された場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

研究課題	施設名
「透析患者さんにおける心不全ステージ進行の早期兆候の多面的評価」 アセスメントツールの開発に向けての検討	東葉クリニックエアポート

※研究概要等については、次ページ以降をご参照下さい。

**「透析患者さんにおける心不全ステージ進行の早期兆候の多面的評価」
アセスメントツールの開発に向けての検討**

研究協力をお願い

現在、医療法人社団明生会東葉クリニックエアポートでは、透析患者さんの心不全に影響を及ぼす要因について調査を行っています。

個人が特定できるような情報は使用せず、また研究発表時にも個人情報を使用されないため「オプトアウト」という手法により、患者さん皆様から個別に直接の御同意は頂かず、このお知らせにより同意を得たものとして扱われます。患者さん皆様には、研究の意義をご理解いただき、本研究へご協力頂きますようお願い申し上げます。

もしこの研究への参加をご希望されない場合、また途中で研究参加を取りやめる場合、その他この研究に関する問い合わせは、下記の問合せ先担当者へお問い合わせ下さい。

1, 研究の概要

研究対象者：医療法人社団明生会東葉クリニックエアポートで外来透析をされている方

2, 研究の意義及び目的

透析を受けている患者さんにおいて心不全の発症は、生命予後や日常生活に重大な影響を与えます。心不全の兆候を早期に察知し、発症を予防するための適切な看護介入を行うことは看護師の重要な役割です。本研究では、透析患者さんにおける心不全発症リスクを早期に評価する看護師視点のツール開発を目標としています。

3, 研究方法

本研究は後ろ向き研究です。2023年6月～2024年6月までの採血データと体重増加率等をカルテデータから分析します。

4, 個人情報について

この研究に当たり、個人が特定できるような情報は使用されず、また研究発表時にも個人情報は使用されません。

5, 問い合わせ先

医療法人社団明生会 東葉クリニックエアポート
担当者：阿部愛鈴（菅谷明子）
連絡先：0476-90-1080